

## 小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

### 授業の質的改革 →資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業（思考力・記述力・発表力）
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

### 組織的な体制・環境づくり →児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

## 平成31年度 学校評価重点計画

小松市立第一小学校  
学校長 吉田 明生

### 目指す児童像

- ① 「い」いきいきと学ぶ子(学力)  
…主体的に学習に取り組み、達成感や意欲をさらなる学びにつなげる姿
- ② 「ち」力を合わせる子（人間関係力）  
…自他を尊重し、互いに認め合い協働してよりよく生きようとする姿
- ③ 「の」のびのびと育つ子(健康・体力)  
…健康や安全について正しく判断し、自他の命を大切にする姿
- ④ 「こ」こまつを愛する子(郷土愛)  
…学校やふるさとを愛し、大切にすると共に、未来に向かってチャレンジしようとする姿

目標 心身ともに健康で、学ぶ意欲と認め合う心をもった、豊かな実践力のある児童を育成する  
～教師の「教えたい」ことを子どもの「学びたい」ことにつなげるために～

#### (1) 学校の現状と課題

学校研究を通して、教材研究の仕方を共有・継続し、単元を見通すことができるようになった。また、逆思考で授業を組み立てることで、新たな視点で教材を捉える事ができ、主体的に学ぶ児童の姿が多く見られる。しかし、教師の「教えたい」思いが強く、教師主導になったり、レールを引いたような展開になったりすることも少なくない。

全ての児童がどの授業においても主体的・対話的で深い学びを実現するために、集団の質の向上と学習過程の質的改善を図っていく。教職員組織を強化し、学校職員が共通のベクトルをもち、協力・協働して授業づくりにあたりたい。

#### (2) 目標達成のための具体的な手立て

- ① 認め合い互いに学び合う温かい学級づくりを推進し、児童の自己有用感や共感的人間関係を育む。
- ② 特別活動や道徳の推進を通して、児童の成長が見える魅力ある学校づくりを行い、児童の意欲の向上に繋げる。
- ③ 研究主任を中心とした組織的・継続的な研修を推進し、学校全体の学びの質の向上を図る。
  - ・教材研究の深化
  - ・子どもをいかに教師の役割
  - ・全員参加の授業
- ④ 若手教員早期育成プログラムを活用し、チームの一員として学校運営に参画し、互いに認め合い、助け合うとともに高め合う教師集団をめざす。